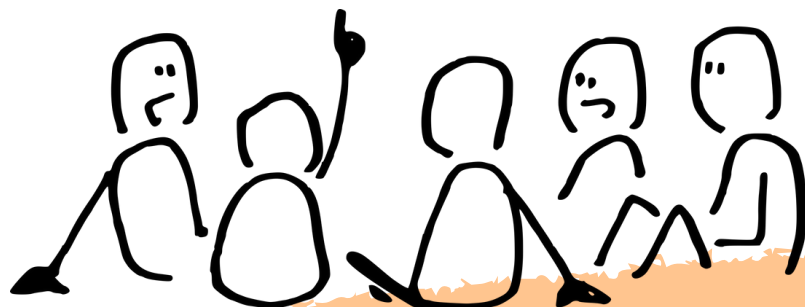


東海圏減災研究コンソーシアム防災シンポジウム

一人ひとりの事情に寄り添った被災者支援 災害ケースマネジメントの現状と未来

被災者の自立・生活再建を進めるためには、被災者一人ひとりの被災状況や生活状況の課題等を個別の相談等により把握した上で、必要に応じ専門的な能力をもつ関係者と連携しながら、課題等の解消に向けて継続的に支援することが必要です。

本シンポジウムでは、被災地域の事例から学び、取り組みを進めていくための方策について対話を行います。



2025

日時

2 / 22 土 14:00 ~ 16:00

会場

〒500-8521
岐阜市橋本町1丁目10-23
ハートフルスクエアG 中会議室

定員

会場先着

40名



オンライン

200名



プログラム

基調講演： 木村圭佑氏

(内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(避難生活担当) 付参事官補佐)

江崎太郎氏(特定非営利活動法人YNF, 土業みつばち隊を運営)

パネルディスカッション

パネラー：木村圭佑氏, 江崎太郎氏, 永井明子氏(岐阜県 危機管理部 防災課長),
平田敬雄氏(建築士として珠洲市で土業みつばち隊として活動),
杉村鎮右氏(弁護士として珠洲市で土業みつばち隊として活動),
栗田暢之氏(JVOAD, レスキューストックヤード),
野尻智周氏(ぎふNPOセンター)

コーディネーター：小山真紀(岐阜大学)

主催：東海圏減災研究コンソーシアム

共催：清流の国ぎふ 防災・減災センター

本シンポジウムは京都大学防災研究所自然災害研究協議会に支援いただきました